

平成17年12月16日

宮城県県政記者会報道機関 各位

東北大学広報部

**中国国家一級文物(国宝) 魯迅「解剖学ノート」(電子複製版)
寄贈記念シンポジウムの記者会見について(お知らせ)**

このことについて、下記のとおり記者発表を行いますので、ご多用とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

< 記 >

- ◆ 日 時 : 平成17年12月19日(月) 15:00~ (受付開始 14:45)
- ◆ 場 所 : 東北大学第三会議室(本部別館2階) 仙台市青葉区片平2-1-1
出席者: 理事(社会貢献担当)大西 仁
経済学研究科 教授 大村 泉

この件に関するお問い合わせ先:

国立大学法人東北大学広報部広報課 菅原、三浦まで

Tel 022-217-4816 Fax 022-217-4818

報道関係者各位

2005年12月19日
東北大学 国際交流部

**魯迅博物館(北京)所蔵 中国国家一級文物(国宝) 魯迅「解剖学ノート」
(電子複製版)寄贈記念シンポジウムの開催**

本年(2005年)9月27,28日、魯迅博物館(北京)において、東北大学、魯迅博物館、在中国日本大使館、仙台市が主催し、国際シンポジウム「魯迅の起点：仙台の記憶」が開催され、魯迅の仙台時代に関する多くの新たな知見が発掘されました。この北京国際シンポジウムは、昨年10月に魯迅の東北大学留学百周年を記念して刊行された『魯迅と仙台』(東北大学出版会)の中国語版『魯迅与仙台』(中国大百科全書出版社、2005年9月)が刊行されたことを記念して開催されたものです。

**中国国家一級文物(国宝) 魯迅博物館(北京)所蔵の魯迅「解剖学ノート」
の電子複製版が東北大学に寄贈**

この北京シンポジウムを契機に、東北大学は魯迅博物館から魯迅「解剖学ノート」全6冊の電子版を寄贈されることになりました。12月6日、この電子複製版が東北大学に到着しました。魯迅の「解剖学ノート」は魯迅の作品『藤野先生』に記されているとおり、魯迅が仙台医学専門学校に在籍中、毎週藤野巖九郎教授に提出し、添削指導を受けたものであって、現在、中国では国家一級文物(国宝)の指定を受けており、これまで、中国人研究者も容易に近づけなかったものです。今回寄贈されたノートは総数1806頁(枚)の浩瀚なものです。東北大学は、本ノートの解読・翻刻作業を進め、その成果を魯迅博物館と共有し、今後の魯迅研究や日本、ひいてはアジアへの西洋医学の普及史研究に、さらには留学生教育に役立てたいと考えております。

**孫郁魯迅博物館長、黄喬生魯迅博物館長補佐を招聘し、国際シンポジウムを
明年2月18日 仙台市国際センターで開催**

本ノートの寄贈を記念して、東北大学は、孫郁魯迅博物館長、黄喬生同館長補佐を仙台に招聘し、明年2月18日、仙台市国際センターにおいて「『解剖学ノート』寄贈記念国際シンポジウム：魯迅と藤野先生」を開催します。本シンポジウムでは、日中文化学術交流の原点ともいべき魯迅「解剖学ノート」の本格的な解読・翻刻に関する最新の研究成果を報告・討論します。

また、国際シンポジウムに先立つ演劇では、「遠い火」と題して、仙台留学中の魯迅が、藤野先生や仙台市民との関わりを経て、精神が地鳴りのように揺れ動きだす様子をドラマ化した創作劇を上演します。

問い合わせ先

東北大学国際交流部国際交流課 022-217-4844

東北大学大学院経済学研究科・大村泉研究室 022-795-6297 omura@econ.tohoku.ac.jp

東北大学学際科学国際高等研究センター 魯迅研究プロジェクト 022-795-5763